

2021 年度

一般入学試験Ⅱ期

選択科目

試験時間 9：30～11：30（120分）

- | | |
|-------|--------|
| 1. 国語 | 14 ページ |
| 2. 英語 | 6 ページ |
| 3. 数学 | 4 ページ |

注意事項

- ①試験開始の指示があるまで、問題冊子の中を見ないこと。
- ②出願時に選択した受験科目で受験すること。
- ③問題冊子の印刷不鮮明やページの落丁・乱丁等があった場合は、手を高く挙げて監督者に知らせること。
- ④試験終了の指示があったら、直ちに解答をやめること。
- ⑤試験終了後、問題冊子は持ち帰ることができます。

健康科学大学

健康科学部 理学療法学科 作業療法学科 福祉心理学科
看護学部 看護学科

1. 国語

※国語の問題は、全14ページです。

国語

1

次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

本当に労働のなかに喜びが内在しており、その喜びのゆえに人生の意味も労働のなかに求めることができるのであれば、労働は実在性を持ち、観念や感情に左右されたり、(ア) ヒヨウシヨウのなかに雲散霧消することなどはありえないことであろう。十九世紀の前半から労働が人間の人間たる根拠であるとする労働思想が生まれてから、二十世紀の現在まで労働の本質と人間の本质とを同一視する思想が普遍的にばらまかれ、空気のように目明となった。労働こそが人間を人間にするという命題は近代と現代の基本になっている。

労働が原初の状態から「文明の状態」に人類を引き上げるのに大きい役割をした（苛酷な労働が人間を鍛え上げたというヘーゲル（注1）の命題をみよ）のは事実であろう。しかし、そのような歴史的事実と、労働が人間の本来的在り方であると言うのは別個の事柄である。労働が社会生活に「必要」であると言うことと、人生の意味が労働にあり、労働の意味（喜び）が人生の生きがいになると言うことは、およそ別個の事態である。前者は社会科学的事実である、後者はイデオロギー的思い込みである。いやそれどころか、A労働意味論（労働喜び論）は、管理のためのイデオロギーである。もともと労働のなかに喜びなどはない、だからこそ無理にでも喜びの労働内在性を(イ)キョウシヨウしなくてはならない。そうでないと労働者は労働してくれないからである。

労働ではなく消費を取り上げてみよう。現代消費社会において消費者はどう行動するのかを観察してみると、消費者は、次々と消費財を購入し利用しているのであるが、そのとき彼らは商品の機能や有用性を消費しているだけではない。彼らは消費財の機能性とは別個に、いや機能以上に、B消費財の象徴的あるいは記号的含蓄を消費している。消費者が商品をあれこれ購入するのは、その財を所有することが同時に社会的ステータスを表現しているからである。時代によって消費財の象徴的価値が変動する。例えば、ある時代では、冷蔵庫、マイカー、カラーテレビが社会的身分を誇示する消費財であったが、別の時代では、自動車なら外国産の高級車、ビデオセット、パソコンなどがそうなる。現在では別の消費財が登場していることであろう。ともかく、消費財のなかには、その所有が社会的地位を上昇させると当事者たちが想像する象徴的価値をもっている。消費者は、こうした「特権的」消費財を消費するとき、自分の想像上の地位と身分、すなわち前よりも上昇したと感ずる象徴的価値を消費しているのである。

なぜそのような行動をするのかは、いままでの記述から明らかである。つまり、消費者は、同等者の間で、社会的地位の上昇合戦をしているのである。ある物をひそかに所有するのでは「意味」がないのである。特権的な物を所有していることを他人に見せびらかせるのでなくてはならない。他人がその物の所有状態をみて、「羨望」と「嫉妬」を感じてくれないと困るのである。実際に他人が羨望も嫉妬も感じなくてもいいのだ。最悪の場合には、本人が「きつとこれを見て他人がうらやむに違いない」と想像して、他人の視線を内面化すればよい。

しかし消費行動のさらに奥には、これが特権的消費財だと「指さす」誰かが必ずいる。それは

自然発生的な「先駆的消費者」かもしれないし、メディアのながす言説であるかもしれないし、企業の消費デザイナーであるかもしれない。いずれにせよ、それらが一丸となって、「上級な消費者」のモデルを提供する。このモデルに合わせて一般的消費者は、他人が指さす特権的な消費財を手に入れて、上級な地位にまで到達したと、錯覚にせよ、感じるものが(ウ)カンジンである。消費財が記号であるのは、この財が地位の記号になるからである。特別の記号になる財は「何でもいい」。消費財の物質的なりアリティなどはどうでもいいのである。

したがって消費欲望は、他人に消費財の所有を誇示することで、自分の地位と価値(「センスのよさ」など)を他人から承認されたいという欲望である。消費社会を動かしているのは、(エ)シヨセン、成り上がり欲望であり、成り上がる欲望を最大限にもっているのは、「C中間階級」である。上級階層と下級階層の中間にいるからこそ、一方では上級階層の価値を内面化し、そうすることで一瞬なりと上級階層に参入したと実感したいと願うし、他方では下級階層に対しては、格下げ評価を下し、自分は「彼らとは違う」という格上げの実感をもつ。しかしこの消費行動の循環の終わりでは事態は少しも変わっていない。上級への上昇は一瞬の夢物語にすぎない。これが中間階層の行動様式である。

ここで重要な論点は、消費財の実在性はゼロ化していることである。地位の記号を示すのであれば何でもいいというのは、財や物の実在性が空無化することである。物の記号化とはそうした事態をさす。高度産業社会と高度消費社会のなかで、D消費財に起きたことが労働にも起きてい

るのではないだろうか。

労働の現場で承認欲望が全面的に活躍しているのであれば、労働する個々人は上下左右の承認欲望によって完全に拘束されているし、自分の現実的あるいは象徴的地位の向上のために緊張した対人関係を維持し続けることを余儀なくされる。言うまでもなく、この労働ポトラッチ(注2)を生き抜くためには個人の肉体的存在だけではどうにもならない。労働する者は労働と全ての「成功」ないし「成就」を承認欲望の充足のために使用しなくてはならない。しかし成功も成就も自分でそのように評価するのでは十分ではない。他人から評価されてはじめて、労働の結果は、成功か否かが確定する。このように、労働の結果は、他人による評価の素材になるが、素材以上のものではない。商品は素材的要素をもっている、商品の社会的評価つまり交換価値がすべてである。

それと同様に、労働と企てが成功であったかどうかの意味での「価値」は、労働の素材的要素にあるのではなくて、労働の「社会的」評価にある。他人の評価によってだけ労働は運動する。フリードマン(注3)が指摘していたように、労働の現場において原料の知識に精通しているとか、生産手段の科学的技術的性質の知識とかを職人的労働者はかつては重視していたが、いまではそうしたことは消滅した。その理由のひとつは、結果を含めての労働全体が実在性を喪失したからであろう。実在性の喪失は、労働がついに全面的に承認欲望だけで動く時代が到来したからである。昔も承認欲望はあった。しかし、その欲望の作用の強度がいまとは違うのである。

労働は実在性を喪失し、承認のための余儀ない「手掛かり」以上のものではなくなった。人はブランドと名声の高い企業に就職する。労働の質とか自分にもっとも適した仕事とかで企業を選ぶのではない。労働の種類は何でもいい。企業の内部での労働であろうと、他の職種であろうと、

何でもこなすが、社会的に格が高いと想像されるのであれば何でもいいのである。問題は、そのこなす労働の結果によって、上司と同僚から「格が高い」と評価されることだけが、いまや労働の動機になった。こうして労働は、消費財的になったのである。

労働は、地位の上昇を求めるひとつのチャンスでしかない。労働は、現実的な、あるいは象徴的な社会的地位の(オ)ケンジのための記号にすぎない。いわゆる労働の喜び、伝統的な喜びは、労働にはもうない。喜びがあるのは、他人の評価によって、自己評価が充足されるときに限られる。上司であれ、同僚であれ、そうした他人の評価を求める欲望が満足されないで挫折するときには、人はさっさと職場を放棄し、別の職場を求めてあてもなくさまようであろう。新規採用者の企業定着率が低い、もちろん一年以内に放棄する率が高いのは、いまや労働が消費財的記号としてしか受けとめられなくなったのが大きな要因のひとつであろう。

古典的労働は現在では消滅した。勝利したもの、それは虚栄心である。

(今村仁司「近代の労働観」による)

注

(注1) ヘーゲル——ドイツ観念論の哲学者(一七七〇—一八三一)。

(注2) ポトラッチ——ポトラッチ(potlatch)とは消費や贈与を意味する言葉で、特に、北アメリカのインディアン社会にみられる儀礼的な贈答競争のことを指し、宴会を開いて財を浪費し、招かれた客も名誉にかけて別の機会にそれ以上の浪費をし、過度の消費によって名誉ある地位を得ようとすることをいう。現代の中間階級は、ぜいたく品をむやみに消費するというポトラッチ的な側面を持っているといわれる。

(注3) フリードマン——アメリカの新自由主義の経済学者(一九二二—二〇〇六)。

問1 傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

(ア) ヒョウシヨウ

- ① ピカソは多くのチエウシヨウ画を描いた
- ② 詐欺事件のシヨウサイを説明する
- ③ 社長室に創業者のシヨウゾウ画を飾る
- ④ 逃げ出したいシヨウドウに駆られる
- ⑤ 成功のために大きなダイシヨウを払った

(イ) キョコウ

- ① 交戦国の間でコウワ条約が結ばれた
- ② 富士山はかつてシンコウの対象であった
- ③ 危険なチヨウコウが観察された
- ④ 古代の宮殿のイコウが発掘された
- ⑤ 日本カイコウの深さは約八千メートルもある

(ウ) カンジン

- ① 才能をイカンなく發揮する
- ② 彼とはカンタン相照らす仲である
- ③ 何事に対してもカカンに挑戦する
- ④ 忘年会のカンジを任される
- ⑤ 異例ともいえるカンダイな判決が下された

(エ) ショセン

- ① ショセツ入り乱れて真相は不明である
- ② 浅草はシヨミン的な街である
- ③ 検診の結果についてシヨケンを述べる
- ④ 条例の制定を求めてシヨメイを集める
- ⑤ シヨセイの上で役立つ教えを説く

(オ) ケンジン

- ① 親の意向でケンジツな職業に就く
- ② 勝利には全員がコウケンした
- ③ ケンキョな人柄には好感を持った
- ④ 最大のケンアン事項が解決した
- ⑤ 細菌をケンビキョウで観察する

問2 傍線部A「労働意味論(労働喜び論)は、管理のためのイデオロギーである」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **6**。

- ① 労働意味論は、人類の原初的な状態における労働のなかにも喜びは存在したとし、労働者に労働の本質を理解させるために、意図的に作られたものであるということ。
- ② 労働意味論は、いかなる労働にも普遍的に喜びが内在するかのように思わせることによつて、労働者に苛酷な労働を強いるために作られたものであるということ。
- ③ 労働意味論は、人生の意味が労働の喜びのなかにあり、その喜びが生きがいになると思わせ、労働者の承認欲望を満たすために作られたものであるということ。
- ④ 労働意味論は、労働の喜びを社会的ステータスと結びつけることによつて、労働者にさらなる労働を促し、その地位の向上を図るために作られたものであるということ。
- ⑤ 労働意味論は、労働そのもののなかに喜びがあるかのように思わせることによつて、労働者を進んで労働に向かわせるために作られたものであるということ。

問3 傍線部B「消費財の象徴的あるいは記号的含意を消費している」とあるが、その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **7**。

- ① 商品はその所有者の社会的ステータスを示す記号であるから、普段の生活では節約を心がけている消費者も、時代によつてその価値が変動することのない耐久消費財についてはできるだけ高価なものを購入しているということ。
- ② 有用性や機能性といった物質的なりアリティを判断基準に商品を購入するのではなく、メディアの流す情報や企業の戦略に操られて、他人の「羨望」や「嫉妬」にさらされるのを意識することなく高価な商品を購入しているということ。
- ③ 商品はその所有者の社会的ステータスを示す記号であるから、自分の想像上の地位と身分を上昇させるために、他人が「羨望」や「嫉妬」を感じることはない範囲で、その時代に流行している高価な商品を購入しているということ。
- ④ 有用性や機能性といった物質的なりアリティを判断基準に商品を購入するのではなく、自分の社会的な地位が以前よりも上昇したことを象徴的に示すものであることに価値を見だして高価な商品を購入しているということ。
- ⑤ 商品はその所有者の社会的ステータスを示す記号であるが、その商品が所有者の上級な地位を示す記号であれば何でもいいわけではなく、できるだけセンスがよくて価格に見合った実質的価値を持つ商品を購入しているということ。

問4 傍線部C「中間階級」に関する説明として**適当でないもの**を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 筆者によれば、「中間階級」は、上級階層と下級階層のはざまにあつて、成り上がりたという強い欲望を持っている。
- ② 筆者によれば、「中間階級」は、下級階層に対しては格下げの評価を下し、自分は彼らとは違つと実感している。
- ③ 筆者によれば、「中間階級」は、上級階層の価値を内面化し、一瞬でもよいから夢物語にひたりたいと願っている。
- ④ 筆者によれば、「中間階級」は、社会的地位の上昇を目指して消費をするが、結果的には地位が上昇するわけではない。
- ⑤ 筆者によれば、「中間階級」は、自分の承認欲望を満たすために、他人の羨望の視線を内面化することもある。

問5 傍線部D「消費財に起きたことが労働にも起きている」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 消費財がその使用価値に基づいて社会的評価が決定されるのと同様に、労働もその成果に基づいて社会的評価が決定されるようになったため、素材的要素に対する外部からの評価が価値の源泉になるという点において、両者は同様の状況に置かれているということ。
- ② 労働が全体として労働者の承認欲望を充足させるための行為となる時代が到来したことによって、かつてのような実体性を失い、社会的な格付けによりその価値が測られるという点で、労働もまた消費財と同様の記号になっているということ。
- ③ 高度産業社会と高度消費社会のもとで、商品がますます高度化するのにもない、労働においてもそれに見合った高度な知識と技能が求められるようになり、労働の世界でも労働の高度化という商品と同様の上級指向の状況が生じているということ。
- ④ 現代では、消費財がその交換価値でしか評価されなくなつてしまつたのと同様に、労働もまた、労働そのもののなかに喜びを見いだしていた過去の時代とは異なり、賃金の高さによつてその価値が評価されるようになってしまつたということ。
- ⑤ 消費財を所有する目的が自己の社会的地位の高さを誇示するという虚栄心を満たすことにあるのと同様に、労働の動機もまた、上司や同僚が自分をどう評価するかではなく、社会的に格が高い職業だと評価されたいという虚栄心だけになってしまつたこと。

問6 本文における筆者の主張に合致する記述として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 人生の意味が労働にあることの理由であるとともに、労働の喜びこそが人生の生きがいになることの理由は、人間が社会生活を送るうえで欠くことのできない要素が労働だからであり、労働こそが人間を人間にするからである。
- ② 現代の消費者は、それを所有することが自らの社会的地位を上昇させるにちがいないと想像される「特権的」消費財をひそかに所有することで、同等の者たちの間で繰り広げられる社会的地位の上昇合戦に勝とうとしている。
- ③ 現代の労働は、労働に承認欲望が全く伴わなかった昔とは異なり、他人から社会的に「格が高い」と評価されたいという承認欲望だけが動機となってしまったために、労働そのものが実在性を失うという事態を招いている。
- ④ ヘーゲルも述べているように、労働が人類を「原初の状態」から「文明の状態」へと引き上げるのに大きな役割を果たしたことが事実である以上、労働が人間の本来的な在り方を示すものであることは疑いの余地がない。
- ⑤ 現代の消費者の消費行動の奥には、自然発生的な「先駆的消費者」やメディアなどによって指示される特権的な消費財を所有するという「上級な消費者」のモデルがあり、それに合わせようとする心理が働いている。

2

次の文章は土井隆義の『キャラ化する／される子どもたち』の一節である。これを読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

着せ替え人形のリカちゃん（注1）は、一九六七年の初代から現在の四代目に至るまで、世代を超えて人気のある国民的キャラクターです。その累計出荷数は五千万体を超えるそうですから、まさに世代を越えた国民的アイドルといえるでしょう。しかし、時代の推移とともに、そこには変化も見受けられるようです。かつてのリカちゃんは、子どもたちにとって憧れの生活スタイルを演じてくれるイメージ・キャラクターでした。彼女の父親や母親の職業、兄弟姉妹の有無など、その家庭環境についても発売元のタカラトミーが情報を提供し、設定されたその物語の枠組のなかで、子どもたちは「ごっこ遊び」を楽しんだものでした。

しかし、平成に入ってからのリカちゃんは、その物語の枠組から徐々に解放され、現在はミニーマウス（注2）やポストペット（注3）などの別キャラクターを演じるようにもなっています。自身がキャラクターであるはずのリカちゃんが、まったく別のキャラクターになりきるのです。これは、評論家の伊藤剛さん（注4）による整理にしたがうなら、特定の物語を背後に背負ったキャラクターから、その略語としての意味から（ア）脱却して、どんな物語にも転用可能なプロトタイプ（注5）を示す言葉となったキャラへと、リカちゃんの捉えられ方が変容していることを示しています。

物語から独立して存在するキャラは、「やおい」などの二次創作（注6）と呼ばれる諸作品のなかにも多く見受けられます。その作者たちは、一次作品からキャラクターだけを取り出して、当初の作品のストーリーとはかけ離れた独自の文脈のなかで自由に操ってみせます。しかし、どんなストーリーのなかにも置かれても、あらかじめそのキャラに備わった特徴は変わりません。たとえば、いくらミニーマウスに変身しても、**A** リカちゃんはリカちゃんであるのと同じことです。

このような現象は、物語の主人公がその枠組に縛られていたキャラクターの時代には想像できなかったことです。物語を破壊してしまう行為だからです。こうしてみると、キャラクターのキャラ化は、人びとに共通の枠組を提供していた「大きな物語」が失われ、価値観の多元化によって流動化した人間関係のなかで、それぞれの対人場面に適合した外キャラを意図的に演じ、**B** 複雑になった関係を乗り切っていくとする現代人の心性を暗示しているようにも思われます。

振り返ってみれば、「大きな物語」という揺籃（注7）のなかでアイデンティティの確立が目指されていた時代に、このようにふるまうことは困難だったはずですが。付きあう相手や場の空気に応じて表面的な態度を取り繕うことは、自己欺瞞（注8）と感じられて後ろめたさを覚えるものだったからです。アイデンティティとは、外面的な要素も内面的な要素もそのまま併存させておくのではなく、揺らぎをはらみながらも一貫した文脈へとそれらを収束させていくとするものでした。

それに対して、今日の若い世代は、アイデンティティという言葉で表わされるような一貫したものとしてではなく、キャラという言葉で示されるような断片的な要素を寄せ集めたものとして、自らの人格をイメージするようになっていきます。アイデンティティは、いくども揺らぎを繰り返

しながら、社会生活のなかで徐々に構築されていくものですが、キャラは、対人関係に応じて意図的に演じられる外キャラにしても、生まれもった人格特性を示す内キャラにしても、あらかじめ出来上がっている固定的なものです。したがって、その輪郭が揺らぐことはありません。状況に応じて切り替えられはしても、それ自体は変化しないリソッドなもの（注9）なのです。

では、自分の本心を隠したまま、所属するグループのなかで期待される外キャラを演じ続けることは、人間として不誠実であり、いい加減な態度なのでしょう。現在の日本では、とくに若い世代では、どれほど正しく見える意見であろうと、別の観点から捉え直された途端に、その正当性がたちまち揺らいでしまいかねないような価値観の多元化が進んでいます。自己評価においてだけでなく、対人関係においても、一貫した指針を与えてくれる物差しを失っています。

現在の人間関係では、ある場面において価値を認められても、その評価はその場面だけで通じるものでしかなく、別の場面に移った途端に否定されるか、あるいは無意味化されてしまうことが多くなっています。人びとのあいだで価値の物差しが共有されなくなり、その個人差が大きくなっているために、たとえ同じ人間関係のなかにも、その時々状況ごとに、平たくいえばその場の気分だけで、評価が大きく変動するようになっているのです。

私たちの日々の生活を顧みても、ある場面にいる自分と別の場面にいる自分とが、それぞれ異なった自分のように感じられることが多くなり、そこに一貫性を見出すことは難しくなっています。それらがまったく正反対の性質のものであることも少なくありません。最近の若い人たちは、このようなふるまい方を「キャラリング」とか「場面で動く」などと表現しますが、C一貫したアイデンティティの持ち主では、むしろ生きづら（注10）した世の中になっているのです。

しかし、ハローキティやミッフィーなどのキャラを思い起こせばすぐに気づくように、最小限の線で描かれた単純な造形は、私たちに強い印象を与え、また把握もしやすいものです。生身のキャラの場合も同様であって、あえて人格の多面性を削ぎ落とし、限定的な最小限の要素で描き出された人物像は、錯綜した不透明な人間関係を単純化し、透明化してくれるのです。

また、きわめて単純化された人物像は、どんなに場面が変化しようと（I）臨機応変に対応することができます。日本発のハローキティやオランダ発のミッフィーが、いまや特定の文化を離れて万国で受け入れられているように、D特定の状況を前提条件としなくても成り立つからです。生身のキャラにも、単純明快でくつきりとした輪郭が求められるのはそのためでしょう。

二〇〇八年には、ついにコンビニエンス・ストアの売上高が百貨店のそれを超えました。外食産業でもファーストフード化が進んでいます。百貨店やレストランの店員には丁寧な接客態度が期待されますが、コンビニやファーストフードの店員にはそれが期待されません。感情を前面に押し出して個別的に接してくれるよりも、感情を背後に押し殺して定形的に接してくれたほうが、むしろ気をつかわなくて楽だと客の側も感じ始めているのではないのでしょうか。店員に求められているのは、一人の人間として多面的に接してくれることではなく、その店のキャラを一面的に演じてくれることなのです。近年のメイド・カフェ（注11）の流行も、その外見に反して、じつはこの心性の延長線上にあるといえます。Eそのほうが、対面下での感情の負荷を下げられるからです。

こうしてみると、人間関係における外キャラの呈示は、それぞれの価値観を根底から異にして

しまった人間どうしが、予想もつかないほど多様に変化し続ける対人環境のなかで、しかし互いの関係をけつして決裂させることなく、コミュニケーションを成立させていくための技法の一つといえるのではないのでしょうか。深部まで互いに分かりあつて等しい地平に立つことを目指すのではなく、むしろ互いの違いを的確に伝えあつてうまく（ウ）共生することを目指す技法の一つといえるのではないのでしょうか。彼らは、複雑化した人間関係の破綻を回避し、そこに明瞭性と安定性を与えるために、相互に協力しあつてキャラを演じあつているのです。複雑さを縮減することで、人間関係の見通しを良くしようとしているのです。

注

- (注1) リカちゃん——女の子の姿をした着せ替え人形の愛称。
- (注2) ミニーマウス——ある企業が作ったネズミのキャラクターの名前。同様に「ハローキティ」「ミッフィー」も企業が作ったキャラクターであり、それぞれネコ、ウサギを題材にしている。
- (注3) ポストペット——コンピュータの画面上でメールの送受信の際、キャラクター（動物が多い）がメールを運ぶ電子メールソフト。
- (注4) 伊藤剛——マンガ評論家（一九六七）。著書に『マンガは変わる』などがある。
- (注5) プロトタイプ——原型、基本形、手本。
- (注6) 「やおい」などの二次創作——「やおい」は男性同士の性愛を題材にした作品や関係性のこと。「二次創作」は既存の作品を利用してそれをもとに作られた物語のこと。
- (注7) 揺籃——ゆりかご。
- (注8) 自己欺瞞——自分にうそをついてだますこと。
- (注9) ソリッドなもの——固く形のあるもの。
- (注10) 錯綜——複雑に入り組んでいること。
- (注11) メイド・カフェ——ウエイトレスがメイドになりきつて接客する喫茶空間。

問 1 傍線部 (ア) ～ (ウ) の表現の本文中の意味内容として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

(ア) 脱却

- ① 古い習慣や考えから抜けだすこと
- ② 新しい環境に慣れてうまくやっていくこと
- ③ 悪い状況を良い状況へと改めること
- ④ 今までの方針を受け継ぐこと
- ⑤ 考えることをやめてしまうこと

(イ) 臨機応変

- ① 一つの基準ですべてを決めようとする事
- ② その場その場の状況に応じて対処すること
- ③ 誰からもよく思われるように要領よくつきあうこと
- ④ 誰に対しても礼儀正しくまじめなこと
- ⑤ 気まずい状況をその場の機転でなんとかおさめること

(ウ) 共生

- ① 人に頼らず一人で生きていくこと
- ② お互いに存在を認め合って生きること
- ③ 運命のめぐりあわせで一緒になること
- ④ 誤りや欠点などを直して正しくすること
- ⑤ 権力を使って無理やりさせること

問2 傍線部A「リカちゃんはリカちゃんであるのと同じこと」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

- ① 従来は、着せ替え人形として開発されたりカちゃんが、長年人びとに親しまれるにつれて、着せ替え人形にとどまらず憧れの生活スタイルをもつ全く別のイメージ・キャラクターとして評価されるものへと変わっているが本来のキャラの特徴は変わらないということ。
- ② 以前は、子どもたちが憧れる物語の主人公であつたりカちゃんが、それまでの枠組を外れた途端に、より自分たちに身近な生活スタイルを演じはじめ別のキャラクターへと変わっているが本来のキャラの特徴は変わらないということ。
- ③ 初めの頃は、憧れの生活スタイルをもつたキャラクターであつたりカちゃんが、設定された枠組から解放され、その場面場面に応じた役割を担うキャラクターへと変わっているが本来のキャラの特徴は変わらないということ。
- ④ 一九六七年の初代から、多くの子どもたちに親しまれたりカちゃんが、平成になってから単なる遊び道具でなく、国民的アイドルとして生まれ変わりメディアで取り上げられる存在へと変わっているが本来のキャラの特徴は変わらないということ。
- ⑤ 発売当初は、家庭環境など特定の物語をもっていたりカちゃんが、多くの子どもたちの「ごっこ遊び」に使われることで、最初の物語の設定が子どもたちによって変わっており別の設定となっているが本来のキャラの特徴は変わらないということ。

問3 傍線部B「複雑になった関係を乗り切っていくとする現代人の心性」とあるが、その内容の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- ① 現代人は、その時々で自己の評価が変動する世の中だからこそ、複数の人格のイメージを必死に使い分けようとする心理的な傾向があるということ。
- ② 現代人は、価値観が多分化しているが故に、その場で表面的な態度をとることもあるがそれが自己欺瞞だと後ろめたさを感じる心理的な傾向があるということ。
- ③ 現代人は、価値観が多分化しているが故に、深い部分まで互いに知ろうとする心理的な傾向があるということ。
- ④ 現代人は、価値観が多分化しているが故に、場面ごとにキャラを演じうまく対人関係を成立させていくという心理的な傾向があるということ。
- ⑤ 現代人は、もともとある社会のなかの価値基準を大事にしながら、矛盾のない人格のイメージを追求しようという心理的な傾向があるということ。

問4 傍線部C「一貫したアイデンティティの持ち主では、むしろ生きづら^{きづら}い錯綜した世の中になっている」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 今日の若い世代は自らの人格を断片的な要素を寄せ集めたものとして認識しているため、自分らしさのイメージが定まっていることはむしろ奇跡に近いということ。
- ② 現代は人びとのあいだで価値の物差しが共有されなくなっているため、自分の価値観だけで生きようとする方がむしろ生きやすいということ。
- ③ 価値観の多元化により自分の評価が場面によって違うため、自分らしさのイメージが定まっている場合は混乱して生きづらいということ。
- ④ 自分の本心を隠したままで期待されるキャラを演じ続けることは、人間として不誠実なことなので自分らしさのイメージが定まっている場合は混乱して生きづらいということ。
- ⑤ 現在の人間関係では、付きあう相手や場の空気に応じて表面的な態度で接することが多いため、もはや自分らしさのイメージを問われない世の中の方が生きやすいということ。

問5 傍線部D「特定の状況を前提条件としなくても成り立つ」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① ハローキティやミッフィーなどのキャラは最小限の線で描かれていることで、国や文化の違いを越えてもキャラ像が単純で一貫性をもっており、どのような場面の变化にも対応することができるため。
- ② ハローキティやミッフィーなどのキャラは最小限の線で描かれていることで、キャラがもつ物語の背景をまったく思い浮かべることができないため、かえってそれが親しみやすいと認識されており国や文化の違いを越えて人びとに愛されるため。
- ③ ハローキティやミッフィーなどのキャラは最小限の線で描かれていることで、国や文化の違いを越えてもキャラ像がわかりやすいことから、現代の複雑な人間関係にうんざりしている人びとの心を癒やしてくれる存在であるため。
- ④ ハローキティやミッフィーなどのキャラは最小限の線で描かれていることで、世界中で人気を集めているが、キャラが単純ではつきりしていることから国や文化の違いを越えても人びとが自分の感情を重ね合わせ身近に感じられるところが魅力であるため。
- ⑤ ハローキティやミッフィーなどのキャラは最小限の線で描かれていることで、キャラ像が単純で一貫性をもっておりわかりやすいという点が人びとが憧れる生き方の象徴となっており、このことは国や文化の違いを越えても変わらないため。

問6 傍線部E「そのほうが、対面下での感情の負荷を下げられるからです」とあるが、それは
どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答
番号は 。

- ① 私たちの日々の生活を振り返ってみると、現代の人間関係ではその場の雰囲気や状況
によって自分を使いわける必要があるため、コンビニやファーストフードの店員のように
その店にあったキャラを一面的に演じる方法を見習うことで人間関係が楽になるというこ
と。
- ② 百貨店やレストランの店員には丁寧な接客が求められるが、コンビニやファーストフー
ドの店員には同じ接客が求められない理由は、店の性質からコンビニやファーストフー
ドは短時間での接客が優先されるため感情のやりとりはむしろそぐわないからということ。
- ③ コンビニやファーストフード、メイド・カフェでは、店員が個人的な感情を押し殺して
接客することを心がけているため、店員とのあいだで一切感情的なやりとりをせずすむ
ことが現代の若者の人間関係のもち方にあっているということ。
- ④ 百貨店やレストランの店員には丁寧な接客が求められるが、コンビニやファーストフー
ドの店員には同じ接客が求められない理由は、客側がそれぞれの店の特徴に合わせた接客
を期待する傾向があるため、客のニーズに合わせた接客をしているからということ。
- ⑤ コンビニやファーストフード、メイド・カフェの接客は、店員が一人の人間として多面
的に接するのでなくその店にあったキャラを一面的に演じているため、客側にもわかりや
すく気をつかわず楽であるということ。

※このページは空白

2. 英語

※英語の問題は、全6ページです。

英語

1

次の問い（問1～問5）の会話を完成させるために、（ ）内に入るのに最も適当なものを下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1 A: I can't decide what to make for dinner.

B: What about pasta? ()

A: Oh, good idea! I can use those tomatoes your mother gave us.

1

① It's dinnertime.

③ Will you invite your mother?

② How does that sound?

④ We don't have any.

問2 A: Hey, have you seen the stapler?

B: I don't know, but I can help you look for it.

A: (), I found it.

B: Where was it?

A: It fell under my desk.

2

① Never mind

③ Excuse me

② Take care

④ Look over there

問3 A: Excuse me, do you know where the bus stop is?

B: Yes, that's it over there, across the street.

A: Thanks.

B: ()

3

① Thank you.

③ Don't mention it.

② I see.

④ Fine.

問4 A: Hi, I'd like a piece of tiramisu, please.

B: Oh, I'm sorry but ()

A: Oh really? Well in that case I'll have some apple pie instead.

B: Sure.

4

① we're sold out.

③ I don't work here.

② it's too expensive.

④ we're closed right now.

問 10 going to the mall, why don't we go on a hike?

- ① In case of ② Instead of ③ Even though ④ How about

3

次の英文（問 1 ～ 問 5）の下線部①～④のうち、誤りが一箇所ある。誤りをさがし、番号で答えよ。

問 1 Later today I'll ① give a ② look at ③ those documents you ④ sent me.

問 2 Simple games ① are a good way ② to break the ③ water ④ at a party.

問 3 David ① is my aunt's ② son, in ③ another ④ words he is my cousin.

問 4 We ① decided to go to Fukuoka ② better ③ than Okinawa ④ this summer.

問 5 A camping car is ① not only a ② vehicle, it's ③ too a ④ home.

4

次の問い（問 1 ～ 問 5）について、日本語の意味に合うようにそれぞれ下の①～⑤の語句を並べ替えて空所を補い、最も適当な文を完成させよ。（ただし、文頭に来るべき語も小文字で示してある。）解答は～に入るものの番号のみを答えよ。

問 1 建物に入るには、ID カードを提示する必要があります。

You () () () () () ID card to enter the building.

- ① show ② to ③ will ④ your ⑤ need

問 2 私の故郷はとても小さく、美しい森に囲まれています。

My hometown is very small and () () () () ().

- ① surrounded ② forest ③ a ④ beautiful ⑤ by

問 3 子供の頃、よくここへ釣りに来たものです。

I () () () () () when I was a kid.

- ① to ② used ③ come ④ here ⑤ fishing

問 4 田舎は都会ほど便利ではないかもしれませんが、はるかにリラックスできます。

The () () () () () convenient as the city, but it is much more relaxing.

- ① as ② not ③ may ④ be ⑤ country

問5 子供たちに良い手本を示すことは、すべての親の責任です。

It is every parent's responsibility () () () () () for their children.

- ① set ② good ③ example ④ to ⑤ a

5

次の英文を読み、問い(問1～問6)に答えよ。なお、*のついた単語には注がつけてある。

The International Fixed Calendar

Have you ever wondered why there are 12 months in a year, or why some months have only 30 days, while others have 31—or even 28! It seems strange that someone would create a system with so many inconsistencies. Who decided that our days and years should be organized like this, and why couldn't they come up with a more logical system? To ask such a question would take us back to the days of the Roman empire and of Pope Gregory XIII*. However, even when we discover the reasons behind our calendar's structure, the same problem remains: the calendar is inconsistent. National holidays can fall on any day of the week; one year a holiday might be on a Saturday, and the next year it could be on a Tuesday. Every year, schools, companies, individuals and even governments have to make changes to schedules to (a)accommodate these variables.

Well, a British man named Moses Cotsworth thought that in our modern time, we needed a modern date system, something that was logical, efficient, and easy to understand. So, in 1902 he developed the International Fixed Calendar, and published his idea to share it with the world.

Cotsworth's calendar was (b)brilliant. He noticed that by shortening each month to 28 days, there would be 29 days (c)left over: enough to make a whole new month of 28 days. This new month he named “Sol”, and put it in the middle of the year, between June and July. This way, there would be 13 months instead of 12, and every month had exactly 28 days. Of course, there would still be 1 day left over after adding Sol to the calendar, so Cotsworth decided that this day was special, and would not be a part of any month. Instead, it would simply be called “Year Day”. Year Day would be the day after December 28th and the day before January 1st, but it was not part of either month. Likewise, it did not fall on a Monday, Tuesday, Wednesday, etc., Year Day was just Year Day, and it would be the very last day of the year. Similarly, an additional day could be added in the summer every 4 years to cover the extra day in a leap year*, which could be called “Leap Day”.

Another great thing about this system was that 28 days divides evenly into 4 weeks, so each month had (d)precisely 4 weeks as well. Because of this, the first of every month would always be on a Monday, no matter what month it was, the second would always be on a Tuesday, and so on. With this system, people could easily remember what day of the week a

certain date would fall on, (A) needing to consult a calendar. The system worked great for businesses, too. Employees could be paid on time every 4 weeks without worrying about bank holidays, and comparing monthly profits and sales would become much easier as well.

So how did people respond to Cotsworth's calendar? Well, unfortunately no country ever officially (e)adopted his idea. Most of the time, reasons such as, "it would be too difficult to change things now," or, "this is how it has always been done," would be given, which suggests that the problems with the current calendar were not as troublesome as switching to a new calendar would be. However one company did adopt the new calendar for their own business. George Eastman, an American entrepreneur*, started using Cotsworth's calendar when he founded his photography business, Kodak. Kodak and its employees used the 13-month calendar from 1928 to 1989, over 60 years! But eventually, they too reverted* back to the standard Gregorian calendar used by the rest of the world.

These days, Cotsworth's calendar isn't talked about so much, although a number of people still hold on to the belief that we should switch to it in the future. Why didn't it work? Well, the civil unrest* in Europe at the time and the approach of World War I were thought to be factors. When faced with the threat of war, a new idea for a calendar just seems insignificant* by comparison. It may be a case of a good idea coming at the wrong time, but if that is the case, perhaps now is a good time to take another look at it.

NOTE: Pope Gregory XIII: ローマ教皇グレゴリウス十三世 leap year: うるう年
 entrepreneur: 起業家 revert: 復帰する・元に戻す civil unrest: 内紛
 insignificant: 取るに足らない

問 1 下線部の (a), (b), (d), (e) の意味に最も近いものをそれぞれ①～④から一つずつ選び、番号で答えよ。

- | | | | | |
|-------|-------------|---------------|---------------|----|
| (a) | accommodate | ① look into | ③ adjust for | 31 |
| | | ② accustom to | ④ put up with | |
| (b) | brilliant | ① expected | ③ generous | 32 |
| | | ② genius | ④ thoughtful | |
| (d) | precisely | ① excellently | ③ expertly | 33 |
| | | ② exotically | ④ exactly | |
| (e) | adopted | ① imagined | ③ imitated | 34 |
| | | ② implemented | ④ immigrated | |

問2 文中 (A) 中に入る最も適当なものを①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① among ② without ③ by ④ while

問3 文中 (c) left に最も近い意味で使われているものを①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① There isn't any cake left.
② He left the party at 9:00.
③ Turn left when you see the sign.
④ He wants to be left alone while he studies.

問4 コッツワースが提案した新しい^{こよみ}暦について正しいと思われるのは次の4つのうちのどの文章ですか？ 37

- ① 一年のうち一か月だけ29日になる。
② 毎月20日は常に土曜日になる。
③ うるう年はなくなる。
④ 祭日に関しては何も影響ない。

問5 著者は新しい暦がどの国においても使用されなかった理由をどう推測していますか？ 38

- ① 変更には費用がかかりすぎたから。
② 当時の人々はより重要な問題に直面していたから。
③ 多くの宗教指導者たちが新しい暦の使用に反対していたから。
④ 人々は新しい暦よりも現在使用している暦を好んだから。

問6 著者は新しい暦についてどのように考えていますか？ 39

- ① 新しい暦の導入は現代社会においては非現実的だ。
② 暦を作成するとき、信仰を巻き込むべきではない。
③ 新しい暦は経済に利益をもたらす。
④ 新しい暦は良いアイデアであり、その導入をもう一度検討するには良い時期だ。

※このページは空白

3. 数学

※数学の問題は、全4ページです。

数 学

1 以下の各問いに答えよ。

- 1) $(2x + 3y)(3x - 2y)$ を展開すると $\boxed{\text{ア}}$ x^2 + $\boxed{\text{イ}}$ xy - $\boxed{\text{ウ}}$ y^2 となる。
- 2) 2次関数 $y = x^2 - 6x + 4$ について、定義域を $4 \leq x \leq 10$ としたとき、この関数の最大値は $\boxed{\text{エオ}}$ であり、最小値は $\boxed{\text{カキ}}$ である。この関数と1次関数 $y = 2x - 8$ との交点の座標は $(\boxed{\text{ク}}, \boxed{\text{ケコ}})$ と、 $(\boxed{\text{サ}}, \boxed{\text{シ}})$ である。
- 3) $x = \sqrt{3} + 1$, $y = \sqrt{3} - 1$ のとき、 $x^3 + y^3$ は $\boxed{\text{スセ}}$ $\sqrt{\boxed{\text{ソ}}}$ である。
- 4) 7人から3人を選んで1列に並べるとき、並べ方の総数は $\boxed{\text{タチツ}}$ 通りである。
- 5) $U = \{x \mid 1 \leq x \leq 100, x \text{ は整数}\}$ を全体集合とする。
 $A = \{x \mid x \in U, x \text{ は3の倍数}\}$, $B = \{x \mid x \in U, x \text{ は5の倍数}\}$ とするとき、
 $n(A) = \boxed{\text{テト}}$, $n(B) = \boxed{\text{ナニ}}$ であり、 $n(A \cap B) = \boxed{\text{ヌ}}$ である。

2

$AB = 5$, $BC = 6$, $AC = 7$ の三角形 ABC がある。図 1 のように、点 A を通り BC に平行な直線が三角形 ABC の外接円と交わる点を D とし、 AC と DB の交点を E とする。以下の値を答えよ。

$$1) \cos \angle ABC = \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}$$

$$2) \sin \angle ABC = \frac{\boxed{\text{ウ}}\sqrt{\boxed{\text{エ}}}}{\boxed{\text{オ}}}$$

$$3) \triangle ABC \text{ の面積} = \boxed{\text{カ}}\sqrt{\boxed{\text{キ}}}$$

$$4) AD = \boxed{\text{ク}}, AE = \frac{\boxed{\text{ケコ}}}{\boxed{\text{サ}}}$$

$$5) \triangle ABD \text{ の面積} = \boxed{\text{シ}}\sqrt{\boxed{\text{ス}}}$$

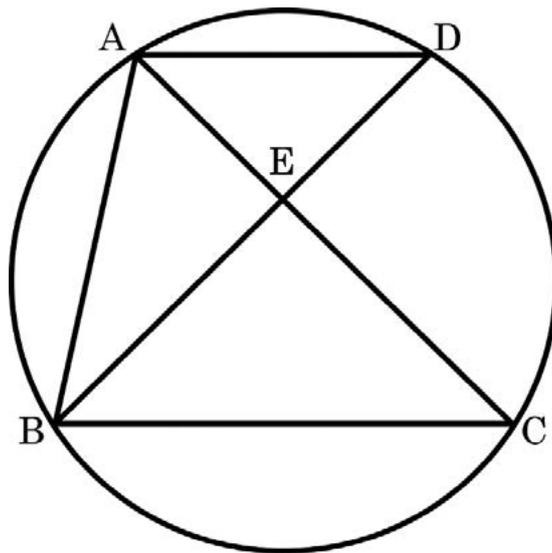


図 1

3

『人狼ゲーム』と総称されるゲームがある。このゲームは参加者が「村人」と「人狼」に分かれて生存を競うゲームである。参加者の役割、すなわち「村人」と「人狼」のいずれになるかはゲーム開始前に役割の書かれたカードを引くことによってランダムに決定する。男性7人、女性5人の参加者が『人狼ゲーム』を行う場合、以下の問いに答えよ。ただし、「村人」と「人狼」以外の役割は無いものとする。

- 1) 「村人」のカードが9枚、「人狼」のカードが3枚ある。このカードを左から右へ1列に並べるものとする。「村人」のカード9枚、「人狼」のカード3枚はそれぞれ区別できないものとするとき、カードの並び方は $\boxed{\text{アイウ}}$ 通りである。
- 2) 「村人」のカードが9枚、「人狼」のカードが3枚あり、参加者はこれらのカードに書かれた役割を見ることなく1枚ずつ引く。参加者の一人Aが「人狼」になる確率は $\frac{\boxed{\text{エ}}}{\boxed{\text{オ}}}$ である。
- 3) 3回続けてゲームを行った。「村人」のカードが9枚、「人狼」のカードが3枚あるとき、参加者の一人であるAが3回続けて人狼になる確率は $\frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キク}}}$ である。
- 4) 5回続けてゲームを行った。「村人」のカードが9枚、「人狼」のカードが3枚あるとき、参加者の一人であるAが5回中3回人狼になる確率は $\frac{\boxed{\text{ケコ}}}{\boxed{\text{サシス}}}$ である。
- 5) 「村人」のカードが9枚、「人狼」のカードが3枚あるとき、「人狼」がすべて女性である確率は $\frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{ソタ}}}$ である。

4

10名の学生に国語、数学、英語、理科の試験を実施した。理科は生物と化学が選択でき、5名が生物、5名が化学の試験を受けた。表1は、試験の得点をまとめたものである。表中の平均点は国語、数学、英語、理科のクラス全体の平均点を示している。また、A、B、C、Dの値はすべて整数とする。

- 英語の得点において、平均点Xは . 点である。また、クラス全員の英語の得点から箱ひげ図を に作成せよ。
- 国語の得点において、クラス全体の平均点は50.0点であるので、8番目の学生の国語の得点Aは、 点である。
- 数学の得点について、1番目の学生の得点Bの値がわからないとき、クラス全体の得点の中央値Mは 通りの値がありうる。
実際には、数学の平均点Yは53.7点であった。したがって、得点Bは 点と定まり、中央値Mは 点である。
- 理科の得点について、生物の平均点は、化学の平均点より3.6点低かった。したがって、5番目の学生の得点Cから6番目の学生の得点Dを引いた値は、 点である。生物と化学を合わせた理科のクラス全体の平均点が48.0点であることと合わせると、Cは 点である。

表1

番号	国語	数学	英語	理科	
1	43	B	49	生物	45
2	44	46	56	生物	47
3	53	55	57	生物	47
4	54	58	60	生物	43
5	36	40	53	生物	C
6	48	50	44	化学	D
7	61	65	59	化学	53
8	A	65	52	化学	49
9	46	51	51	化学	51
10	50	57	55	化学	49
平均点	50.0	Y	X	48.0	